

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	856 市管理文化財維持管理事業					
予算科目	01-100503-13 文化財維持管理に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	活用係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法、茨城県文化財保護条例、つくば市文化財保護条例			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、文化財所有者
目的	市内に所在する国・県・市指定や国登録その他の文化財、周知の遺跡等を次世代に良好な状態で継承する。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○文化庁、茨城県及び市文化財保護審議会、文化財保護指導員その他の専門家の指導を仰ぎながら、対象文化財の維持・管理・整備等を適切に実施 ○市指定史跡保存のための民有地の賃貸借 ○史跡整備に関する団体に加盟し情報収集や意見交換を実施

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	5,975	6,258	6,800	7,154	7,154	
	決算額	(千円)	4,675	5,961	5,630	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,635	5,921	5,590	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	40	40	40	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,798	3,006	3,274	3,127	3,127	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	100.00	154.00	150.00	150.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	文化財保護審議会への市民参加

指標の推移

1	指標名	管理文化財件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	指標の概要	市が直接に草刈り・修繕等の維持管理をする文化財の件数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし。	
成果	市が所管する史跡の草刈り等の業務委託や、県指定文化財五角堂の茅葺屋根修繕等を通して、指定等文化財の維持管理を適切に行った。また、地元団体や住民による草刈り等を通して、小田城跡内公有地等の景観美化が図れた。 市加盟協議会による研修会等に参加することで、他自治体と有意義な意見交換ができた。	
課題	業務	特になし。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	特になし。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	857 民有文化財補助事業					
予算科目	01-100503-13 文化財維持管理に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	活用係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法、茨城県文化財保護条例、つくば市文化財保護条例			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、文化財所有者
目的	市内に所在する民有の国・県・市指定や国登録その他の文化財の継承に必要な経費を補助することで、当該文化財を保護する。
概要 (取組内容)	指定・登録文化財の管理・修理について、予算の範囲内で経費の一部を補助する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	792	792	833	10,469	1,000	
	決算額	(千円)	517	286	695	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	517	286	695	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,362	1,382	723	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし。	
成果	県指定文化財絹本著色愛染明王像保存修理事業、市指定民俗文化財百家竜水万灯保存事業、市指定民俗文化財吉瀬はやし保存事業、国重要文化財大塚家住宅火災報知設備点検事業、同改修事業の5件に対して補助を行ったことで、文化財の適切な保存・維持管理ができるよう所有者への支援ができた。	
課題	業務	特になし。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	特になし。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	859 市史編纂事業					
予算科目	01-100503-14 市史編纂に要する経費				担当部課	教育局文化財課
市長公約					係名	保存係
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	歴史資料を体系的・分類的に調査・整理・記録して郷土の歴史を正しく後世へ伝える。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○保有史・資料の整理及び解読作業（江戸時代の近世文書を中心に行う。） ○整理・解読後の史・資料を市史史料集として刊行 ○未発見の史・資料を調査し、写真やデジタルデータとして記録 ○市関連史・資料の入手（古書店等からの購入を含む。）

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	1,514	694	689	1,139	690	
	決算額	(千円)	607	587	621	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	380	466	564	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	227	121	57	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,399	1,540	1,508	1,443	1,443	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	15.00	65.00	25.00	25.00	25.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	図書の刊行 (冊)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0
	実績	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0
指標の概要	整理・読解の終了した史・資料について、冊子として刊行する。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	史料整理について、筑波大学の日本近世史研究室の一部を委託することで、業務効率を高めることができた。	
成果	本年度は洞下村名主や菅間村長を務めた家の近世近代史料群について、筑波大学の日本史研究室の一部を委託しながら調査し、文書目録の作成、重要史料の撮影を進めることができた。史資料の収集については葛城村地籍図、養蚕用火鉢、桜村旗、桜村記念誌など4件の寄贈を受けたほか、学園都市関係資料、田中庄山王宮略記などの資料を購入した。	
課題	業務	古文書解読のできる職員が不足しているため、調査・整理が必要な未整理史料が蓄積している。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	史料整理業務に古文書解読の能力を有する会計年度任用職員をあてることで、史料整理の効率化を図る。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	860 小田城跡保存事業					
予算科目	01-100503-15 小田城跡に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係・活用係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画、つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、文化財所有者
目的	国指定史跡「小田城跡」を土地買収により保存し、歴史公園として活用できるよう復元整備する。
概要 (取組内容)	<p>○土地買収は、文化庁長官に現状変更を許可されない土地等で実施し、H19年度までに史跡南半の市街化調整区域約11haがほぼ終了、現在は北半の市街化区域で概ね毎年1筆を買収している</p> <p>○発掘調査の出土品の保存処理を継続して実施する</p>

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	8,122	12,418	21,239	10,211	622	
	決算額	(千円)	7,028	10,387	21,902	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	68	75	4,428	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	5,581	8,262	17,474	0	0
		その他	(千円)	1,379	2,050	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,059	1,085	1,084	1,036	1,036	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	15.00	20.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	文化財保護審議会での市民参加

指標の推移

1	指標名	土地買収面積(H29以降)				(m ²)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,126.0	1,430.1	340.0	778.0	192.0	2,017.0
	実績	2,135.8	1,425.8	335.5	772.5	195.0	2,098.7
	指標の概要	史跡保全のための土地買収面積					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし。	
成果	市街化区域内の規制が厳しい土地2筆、2,098.7㎡の公有化及びそれに伴う測量や鑑定などを実施した。10月に地権者交渉を行い合意、2月に売買契約を締結した。土地の公有化によって、史跡を良好な状態で保存することができるようになった。 出土品の保存処理等については、木製品2点を実施し、恒久的な保存が可能となった。	
課題	業務	特になし。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	特になし。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	982 埋蔵文化財調査・保存事業					
予算科目	01-100503-12 文化財調査に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市文化財保存活用計画、史跡平沢官衙遺跡保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、事業者					
目的	市内に所在する埋蔵文化財について、文化財保護法等で定められた調査・調整等の手続きを行い、保存措置を講じる。また、重要遺跡の調査・保存や出土品等の保管・活用を行う。					
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○各種開発等に伴う埋蔵文化財取扱事務、各種開発等に伴う試掘・確認調査 ○非営利目的での本発掘調査等、民間調査機関による記録保存調査の調整 ○重要な遺跡の保存・活用を検討するための内容確認調査 					

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	12,708	14,583	42,762	42,086	42,086	
	決算額	(千円)	14,169	17,737	53,934	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8,446	12,517	41,285	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	5,723	5,220	12,649	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,215	18,537	24,875	25,001	25,001	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.30	2.20	3.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	1,375.00	1,378.00	1,287.00	1,765.00	1,765.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ等での埋蔵文化財関係手続の周知、発掘調査報告書の刊行
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	照会から調査実施までの期間を短縮するため、3班体制で現地調査を実施し改善を図ったが、作業量の極めて多い本発掘調査が2件発生し期間を短縮できなかった。事業者等から早期実施への要望や苦情が多く寄せられたため、一部の事案については民間調査組織に業務委託して対処した。
成果	埋蔵文化財の有無照会（文書313件、窓口等2,223か所）に対応し、手続き等を適切に行った。また各種開発に伴う試掘・確認調査57件や、個人住宅開発等に伴う本発掘調査9件を実施し、開発と保存の調整をした。そのほか民間調査組織による本発掘調査2件の調整・協議・監督をした。調査等で得た出土品や記録は市の貴重な財産になった。
課題	<p>業務</p> <p>人口増に伴う各種開発、畑地や山林の売買、太陽光発電所開発等が活発なため、業務量が増加し続けていて対応しきれっていない。公民の開発事業を遅延させてしまっているため、事業者等に損害を与えないためにも、これを解消することが引き続き課題である。</p> <p>組織、予算等</p> <p>増加・蓄積を続ける業務量に対応しながら、職員の長時間勤務を解消していくためには、埋蔵文化財専門職員と発掘作業に従事する会計年度任用職員の増員、外注可能な業務の委託料の増額が必要不可欠である。</p>
改善目標	効率良く現場を回すことで、照会から調査まで要している期間を少しでも短縮し、開発や売買が停滞したり、事業進捗に深刻な影響を与えないようにする。係内での業務分担を見直し、残業が特定の職員に偏らないようにする。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	各種開発や土地売買等に伴う調査は市内での経済活動に必要な不可欠であり、これらを停滞させたり、深刻な影響を与えたりしないためには、体制や予算を拡充して未着手となっている調査の処理数を増やしていく必要があるため。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	854 文化財保護審議会事業					
予算科目	01-100503-11 文化財保護審議会に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係・活用係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法、つくば市文化財保護審議会条例				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要な事項について調査し、教育委員会に建議する。
概要 (取組内容)	文化財保護行政全般について、広範な知識を持つ外部有識者と市民委員10名によって構成される審議会を年に2、3回開催し、市の文化財保護行政全般に関し適切かつ公平に審議を行うほか、文化財の保存と活用に関する重要事項に関して協議、検討及び報告を行う。また、必要に応じて現地調査を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	252	228	252	252	252	
	決算額	(千円)	142	208	194	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	142	208	194	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,022	1,036	1,084	1,036	1,036	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	会議の傍聴、ホームページでの会議録の公開
企画・立案、計画	—
実行	市民委員の参加
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	審議会の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	実績	0.0	2.0	3.0	2.0	3.0	3.0
指標の概要	(個別施策 I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 審議会の開催回数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし。	
成果	文化財保存活用計画に基づき、前年度事業の実績及び成果を報告するとともに、現年度事業の計画及び進捗状況を説明し、専門的な立場からの意見を聴取することができた。また、文化財の指定等基準や新規指定候補物件等について意見を得ることができた。	
課題	業務	特になし。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	特になし。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	863 文化財展示施設管理事業						
予算科目	01-100503-16 文化財展示施設管理に要する経費			担当部課	教育局文化財課		
市長公約				係名	活用係		
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実		新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画、史跡平沢官衙遺跡保存活用計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市文化財展示施設条例及び同条例施行規則				SDGs	04質の高い教育をみんなに	
						11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、施設利用者
目的	市内の出土文化財、史料、民俗資料等や復元整備した史跡を保存、展示する市文化財展示施設等の、所蔵資料や施設を維持管理する。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○所蔵資料の収集及び適切な管理 ○申請に応じた施設使用・資料利用への対応 ○施設の維持管理のための法定点検、植栽や設備の維持管理、機械警備、収蔵資料の燻蒸処理等を専門業者に委託して実施 ※桜歴史民俗資料館には、桜窓口センターが含まれる。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	55,486	58,583	54,605	67,590	68,000	
	決算額	(千円)	48,101	52,359	53,456	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	47,620	51,851	53,028	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	481	508	428	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,282	4,460	5,616	5,381	5,381	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	80.00	130.00	515.00	510.00	510.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

指標名	収蔵資料利用件数 (件)						成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	45.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	48.0	24.0	25.0	23.0	20.0	12.0
指標の概要	(個別施策 I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 収蔵資料の閲覧・写真撮影複写・掲載及び貸出等の利用件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし。	
成果	各展示施設の利用者数及び解説等依頼件数は、昨年と同等であった。所蔵資料・施設の利用申請等を適切に処理し、他市町村等での展示や研究、出前講座等においても有効活用した。一昨年度販売開始した小田城御城印も一定の売上を保った。施設及び所管地の植栽や修繕については、専門業者へ委託して適切に管理した。	
課題	業務	特になし。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	特になし。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	865 学校での伝統文化教育支援事業						担当部課	教育局文化財課
予算科目	01-100503-17 歴史文化教育・活用に要する経費						係名	保存係・活用係
市長公約							新規・継続	継続
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実			事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	職員のみ
							事業期間	毎年度
個別計画	つくば市文化財保存活用計画						SDGs	04質の高い教育をみんなに
根拠法令等	文化財保護法、教育基本法							11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	児童・生徒、教職員
目的	市の歴史や文化財を、学校教育の中で市内の子供達に伝える。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○出前講座・文化財施設見学説明 ○学校教諭対象の説明研修会の開催 ○市の歴史や文化財を教育現場で活用しやすくまとめ、伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	209	289	289	289	289	
	決算額	(千円)	0	226	61	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	226	61	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,479	3,454	1,445	1,382	1,382	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	施設等解説へのボランティア参加
評価、検証	文化財保護審議会への市民委員参加

指標の推移

指標名	講座・説明回数 (回)						活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1 目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	
実績	31.0	6.0	6.0	18.0	24.0	19.0	
指標の概要	(I - 2 - ③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 学校対象に行う出前講座や展示施設見学説明の回数						

2	指標名	研修会の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	指標の概要	学校教諭対象の説明研修会の開催及び資料提供の回数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし。	
成果	年度初めから市内小中学校・高等学校の児童・生徒に対して、展示説明及び出前講座の機会を多く得ることができ、郷土を学習する支援ができた。説明等は、解説ボランティアの参加により省力化できた。また、昨年度再開した教職員研修を実施することができた。	
課題	業務	特になし。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	特になし。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	866 文化財催事講座等事業						担当部課	教育局文化財課
予算科目	01-100503-17 歴史文化教育・活用に要する経費						係名	活用係
市長公約							新規・継続	継続
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実			事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画						事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法、市教育振興計画						SDGs	04質の高い教育をみんなに
								11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	市の歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むとともに、観光等へ活用することで市のプロモーションに寄与する。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○市内展示施設を巡る巡回企画展を開催し、テーマに沿った講演会等を実施 ○古文書読解等の文化財講座の実施 ○平沢官衙遺跡歴史ひろば、小田城跡歴史ひろばにおける史跡活用催事の開催

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	3,913	4,318	5,314	5,699	5,699	
	決算額	(千円)	8,558	4,375	5,809	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,637	1,687	3,715	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,372	1,405	2,094	0	0
		その他	(千円)	1,549	1,283	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,539	8,907	8,843	8,714	8,714	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	1.20	1.10	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	150.00	255.00	360.00	460.00	460.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	イベントの内容に応じてボランティア等が参加
評価、検証	文化財保護審議会への市民参加

指標の推移

指標名	企画展開催に伴う講演会等の回数 (回)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
実績	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
指標の概要	(I - 2 - ③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 企画展のテーマに沿った講演会や体験講座の開催回数					

2	指標名	桜歴史民俗資料館入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	7,850.0	7,880.0	8,000.0	8,040.0	8,080.0
	実績	0.0	1,705.0	2,568.0	3,166.0	3,465.0	2,940.0
	指標の概要	※R3: コロナのため8/18~9/21休館					
3	指標名	平沢官衙遺跡歴史ひろば入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	46,610.0	47,000.0	47,850.0	48,770.0	49,685.0
	実績	0.0	35,722.0	38,024.0	42,812.0	35,302.0	36,115.0
	指標の概要	※R3: コロナのため8/18~9/21休館					
4	指標名	小田城跡歴史ひろば入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	21,300.0	21,380.0	21,390.0	21,400.0	21,420.0
	実績	0.0	15,317.0	13,888.0	19,231.0	15,641.0	17,996.0
	指標の概要	※R3: コロナのため8/18~9/21休館					
5	指標名	出土文化財管理センター及び谷田部郷土資料館の入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4,740.0	4,740.0	4,760.0	4,790.0	4,815.0
	実績	0.0	569.0	891.0	1,841.0	2,857.0	2,378.0
	指標の概要	※R3: コロナのため8/18~9/21休館					

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし。	
成果	各施設での常設展示のほか、巡回企画展と関連講演会等、夏休みの小中学生向けの体験学習会、古文書講座、史跡を活用した催事を開催した。巡回企画展は秋期に2会場で開催し、企画展986人、講演会91人、体験学習32人の来場・参加者を得た。古文書講座は夏期・冬期に各4回実施した。いずれもアンケート満足度が高く、実施により歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育成できた。	
課題	業務	各施設の来場者数は、新型コロナウイルス感染症の流行前に設定した目標を大きく下回っており、令和5年度以降の回復も鈍い。また、巡回企画展についても、会場となる施設の改修工事との関係で学校見学が多い時期に会期が合わせられなかったことから、来場者数が例年を下回った。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	各施設の年間来場者数については、講座や催事での活用、周知の工夫等により、改善を図っていく。巡回企画展については、学校等の団体見学を見込んだ会期の設定や、会期中の催事との連携、担当者による展示解説会の実施等により、改善を図っていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	981 各種文化財基本調査事業					
予算科目	01-100503-12 文化財調査に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	市内に所在する無指定を含む各種文化財の基本調査を行い基礎データを収集し、資料の蓄積、今後の保存対策の立案及び「まちづくり」の根幹となる地域独自の文化財の把握をする。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○各種文化財について計画的・継続的に所在や概要を把握する基本調査である悉皆調査の実施 ○巡視等により文化財の現状を把握する現況確認調査の実施

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	513	414	414	414	414	
	決算額	(千円)	275	12	429	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	275	12	429	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,092	2,072	2,168	2,072	2,072	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	広報紙等での調査実施の周知、市民向け刊行物の作成・配布
企画・立案、計画	対象文化財の市民等からの情報提供
実行	市民ボランティアによる調査の補助
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	悉皆調査件数（R1まで）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	73.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 自然文化財調査の現地調査件数					

2	指標名	巡視による現況確認文化財件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	実績	25.0	25.0	26.0	26.0	26.0	26.0
	指標の概要	計画的な巡視で保存状況を確認した文化財の件数					
3	指標名	悉皆調査件数 (R 2 から) (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	指標の概要	(個別施策 I - 2 - ③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 各種文化財の悉皆調査件数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	先送りになっていた国登録有形文化財候補物件 2 件の建造物調査を実施した。	
成果	悉皆調査の一環として国登録有形文化財候補物件 2 件の調査を実施し、文化庁へ意見具申を行うための知見と資料を得ることができた。また、国県指定文化財等については、8月と1月の2回、県文化財保護指導員とともに巡視をし、現状の把握ができた。	
課題	業務	特になし。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	特になし。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	983 文化財サポーター事業						
予算科目	01-100503-17 歴史文化教育・活用に要する経費				担当部課	教育局文化財課	
市長公約					係名	活用係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実		新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等					SDGs	04質の高い教育をみんなに	
						11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	市民が歴史や文化財に触れる機会、市の文化財行政を知る機会を作る。
概要 (取組内容)	<p>○解説ボランティア育成を目的とした講座・研修の開催</p> <p>○講座修了者からボランティア登録者を募り、展示施設や文化財の解説のほか、学校支援業務への協力、文化財の見回り、イベント時の補助、展示作成時の補助などを実施</p>

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	237	237	237	237	237	
	決算額	(千円)	211	154	211	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	211	154	211	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,405	3,454	1,445	1,382	1,382	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	文化財ボランティアが学校等への解説やイベント補助に参加
評価、検証	ボランティア登録者による意見交換会の実施、文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	文化財サポーター参加人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15.0	20.0	25.0	35.0	40.0
	実績	10.0	15.0	23.0	31.0	30.0	36.0
	指標の概要	(I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 文化財サポーターとして活動する人数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし。	
成果	市内学校の展示説明だけでなく、つくばちびっ子博士、企画展体験学習及び講演会等で、幅広く参加の機会を作ることができた。7月にはボランティア登録者との意見交換会を行い、参加者の要望を把握した。また、年間を通じて民間ボランティア団体「常陸小田城親衛隊の会」と連携し、小田氏と小田城を解説するイベントを計8回実施し、市民へ幅広く文化財への理解と愛着を深める機会とすることができた。	
課題	業務	ボランティア登録者の活動の場が、「ちびっ子博士」イベントのある夏や、企画展体験学習・講演会及び学校見学が多い冬へと偏り、繁忙期以外で活動の場がなく、意欲が下がってしまうことが懸念される。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	活動の少ない時期に、定例会や研修会、展示物作成補助などの機会を設ける。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	047 平沢官衙遺跡再整備事業						
予算科目	01-100503-16 文化財展示施設管理に要する経費			担当部課	教育局文化財課		
市長公約				係名	活用係		
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実		新規・継続	新規
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画、平沢官衙遺跡保存活用計画、平沢官衙遺跡再整備基本計画・基本設計				事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	文化財保護法				SDGs	04質の高い教育をみんなに	
						11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、施設利用者					
目的	平成15年度に開園した平沢官衙遺跡歴史ひろばについて、経年劣化が進行した復元建物屋根等の改修や解説設備の拡充等により、耐久性や安全性、わかりやすさを改善する再整備事業を実施する。					
概要 (取組内容)	○令和3年度に基本計画・基本設計、令和4年度に実施設計を策定 ○令和5～9年度に再整備工事を実施					

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	17,131	64,073	109,805	112,936	109,517	
	決算額	(千円)	11,360	34,115	108,655	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,255	18,102	18,010	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	5,105	16,013	90,645	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,355	4,557	4,978	4,775	4,775	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	110.00	170.00	258.00	260.00	260.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市民向けの工事現場の公開、茅こしらえの体験事業を開催
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	再整備懇話会への地元区長参加、文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	設計・工事の進捗率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	5.0	10.0	35.0	52.0
	実績	0.0	0.0	5.0	9.0	21.5	45.0
	指標の概要	(個別施策 I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 設計・工事の進捗率					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特定財源として国庫補助金に加えて起債を充当して予算を増額し、先送りにした造園的工事の実施設計、土倉の再整備工事の一部及び当初計画で予定していた校倉再整備工事を行ったことで、事業の遅れをおよそ取り戻すことができた。	
成果	史跡平沢官衙遺跡再整備懇話会を3回開催し、助言と指導を受けながら、実物大復元建物土倉の茅屋根と校倉の板屋根の葺替を主に行い、来年度工事予定の板倉屋根材を購入した。また、造園的整備の環境再整備工事の実施設計を作成した。再整備工事を着実に進めることで、復元建物の保全と安全性の確保ができ、工事現場の公開と茅こしらえの体験を行うことで、事業を市民に周知することができた。	
課題	業務	特になし。
	組織、予算等	物価の高騰により、予算全額を使用しても、当初予定の工事範囲が完了できなかった。
改善目標	国庫補助金や起債で予算を確保するとともに、急ぎではない部分については事業完了年度を伸ばすことで対応する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—